



The Japan Amateur Radio League, Inc

秋田県支部報

2021 年度版

目次

表紙	2
秋田県支部挨拶 支部長JA7SOK 渡邊和弘	3
副会長・東北地方本部長 JA7AJH 尾形 和俊	4
顧問挨拶 JA7DCY 石川和夫	5
「北海道・北東北の縄文遺跡群」世界遺産登録記念特別記念局について JA7CPX 大里哲三	6
第31回VUオール秋田QSOパーティー規約	6
秋田県支部アワード JF7UIW 松橋密	8
秋田県支部ARDF委員会 JF7UIW 松橋密	8
災害対策委員会 JH7QFP 武埴竹千代	9
ADXA (the akita DX association)	10
雄和アマチュア無線クラブJA7YWY 皆川和吉	10
秋田市市役所アマチュア無線クラブJH7ZGK 佐藤彷徨幸	11
本荘ハイソサエティーアマチュア無線クラブJE7YAI 森川由一	12
千秋アマチュア無線倶楽部JE7YNM 府金浩樹	13
秋田県アマチュア無線赤十字奉仕団JA7YPW 石川和夫	14
令和2年度JARL秋田県支部活動報告	15
令和2年度JARL秋田県支部費収支報告書	15
令和3年度JARL秋田県支部活動計画	16
令和3年度JARL秋田県支部予算	16
JARL秋田県支部役員委員	17
秋田県支部登録クラブ	18
秋田県支部監査指導員	18
JARL全世界10,000局アワード受賞 JA7DY 原田勇作	19

一般社団法人 日本アマチュア無線連盟 秋田県支部報

ご挨拶

支部長 渡邊 和弘



JARL 秋田支部会員各位、県支部役員、登録クラブ員各位には日頃より県支部活動にご支援ご協力を頂き有り難うございます。

令和3年度も新型コロナウイルスが蔓延している状況にありハムの集いや支部主催の ARDF 大会などが中止を余儀なくされました。

しかし、主催行事が中止される中、VU オール秋田コンテストや QSO パーティーはコロナ禍においても多くの参加局があり、これもコンテスト委員会の日頃の活動と協力のお陰と感謝しております。

特に秋田県高等学校文化連名主催の ARDF 大会は各学校関係者のご尽力により開催されております。

6月からは「東京オリンピック・パラリンピック」を記念した JARL の特別記念局「8J7OLYMPIC」が6月7日～6月27日まで、登録クラブ「秋田県アマチュア無線アクティビティ協会、雄和クラブ」のご協力により2,588局の運用となりました。

また、北海道・北東北の縄文遺跡群世界遺産登録記念として「8J7JOMON」の特別局が8月1日から12月31日まで運用されています。

秋田県内においては鹿角市にある国の特別史跡「大湯環状列石」北秋田市の「伊勢堂岱遺跡」が対象になっており各々の市から運用されております。併せて、縄文アワードも発行されます。

令和3年3月10日に電波法施行規則等の関係省令や告示等の改正が公布・施行され、アマチュア無線の社会貢献活動での活用や、小中学生のアマチュア無線の体験機会拡大について制度の見直しが行われました。

今後、は非常災害時等のボランティア活動や、地域イベントなどの活動等において、アマチュア無線の活用が広まるとともに、親子や学校での体験機会拡大を通じてのアマチュア無線普及に繋がることが期待されます。

能代市の JA7DY 原田勇作さんが JARL 世界一万局賞を見事受賞されております。おめでとうございます。

更なるご活躍を祈念いたします。

なお、秋田県支部報については、本年5月中旬の発行予定としておりましたが、新型コロナウイルスの感染などから大幅に遅れる発行となりましたことお詫び申し上げます。どうかご理解とご協力をお願いいたします。

ご挨拶



一般社団法人日本アマチュア無線連盟
副会長・東北地方本部長 JA7AJH 尾形 和俊

会員の皆様方におかれましては益々ご清栄のこととお慶び申し上げます。

日頃は JARL 秋田県支部事業活動にご協力を頂き誠に有り難うございます。

新型コロナウイルスの感染拡大がいまだ治まらず、大都市を中心に緊急事態宣言、まん延防止等重点措置が施行されています。JARL 理事会も事務局に集まり開催されていましたが、今は各理事が顔を合わせず「ZOOM」で PC の前でしています。

私は本部長に就任して以来、年に一度各県にお邪魔して会員の意見を聞くのを楽しみにしていましたが、昨年度は一度も東北の会員の所にお邪魔できませんでした。

これではいけないと思い、東北地方本部の活性化を願い「東北大震災 10 周年復興特別局・8J7E」を 3 月 1 日～6 月 30 日まで運用しております。秋田県、山形県の皆さんには運用出来ず寂しい思いをさせますが、励ましのお声かけで協力お願いします。

喜ばしい事が一つありました。平成 6 年以来減少続けていました会員が 27 年ぶりに令和 3 年 3 月に前年比 574 名増加に転じました。「会員増強組織強化委員会」の委員長としては日頃の会員の地道な活動、協力のお陰と感謝申し上げます。

JARL の身近な活動としては「社会貢献活動での活用及び、小中学生のアマチュア無線の体験機会の拡大」を総務省に JARD と連名で陳情を行いました。

無資格者の小中学生に、家庭や学校において有資格者の指揮・立ち合いの下に、アマチュア無線の楽しみを体験させたいと思いますのでご協力をお願いします。

また、災害時には地域のボランティア活動に積極的に参加し、アマチュア無線を身近なものとしての活動も合わせてお願い致します。

秋田県支部会員の FB なハムライフ、そしてコロナウィルスの早い収束を祈りご挨拶とします。

(令和 3 年 5 月 9 日)

令和3年5月16日

回顧と前進

顧問 JA7DCY 石川 和男

令和2年の第9回定時社員総会終了と同時にJARL秋田県支部長を退任いたしました。平成19年の6月に就任しましたので実に長いもので約13年間務めたことになります。

前支部長の佐藤清秀(JA7000)さんが県外転勤に伴い、急遽支部長に就任することになりました。選挙でも、話し合いでもありません。単に人手不足の補助員という事だろうと勝手に理解していました。支部の役員・委員は経験豊富な錚錚たるメンバーでしたので、おんぶに抱っこで行けるのではないかと不届きな気持ちでした。

長年支部には所属していましたが詳しいことは判らないまま就任いたしましたので皆様にはなにかと不便をお掛けしたのではないかと反省しています。

この頃すでにJARLは会員減少と高齢化が危惧されていました。これに伴う支部費の減少も心配でした。

就任翌年には大潟村で「電波の日」記念運用、ハムの集い、AED講習会、ARDF高校大会、9月湯沢市で秋田県防災訓練、併せてSSTVデモ、災害ロールコール、第22回オール秋田コンテスト、秋田県ARDF競技大会。10月に施設見学会としてNHK秋田放送会館の見学11月に由利本荘市での御殿まり記念運用。等を実施しています。明けて平成21年1月にオール秋田QSOパーティーを実施しました。平成21年度は6月に秋田県高校ARDF大会を雄和で開催この大会は全日本ARDF大会予選大会でした。9月には由利本荘市での秋田県防災訓練に参加しました。東北大会兼高校ARDF秋期大会を開催。その他に秋田県高校ARDF春季大会、こまち杯ARDF競技大会、3.5MHzARDF大会などのARDF大会に協力支援を行いARDF活動の基礎固めに役立ったと思います。10月には施設見学会でJR東日本秋田総合車両センター平成22年10月には技術講習会を実施しアンテナ作りを実施しました。平成23年のハムの集いはセリオンプラザで開催し135kHz帯運用講演、WSJTの公開実験、ワイヤーズについて運用講演、SSTVの公開運用、施設見学会AKT大森山送信所を実施しました。11月1日から社団法人日本アマチュア無線連盟が一般社団法人日本アマチュア無線連盟とりました。頭に「一般」が付きました法的にはあるとないでは大きな違いがあります。

平成26年度の秋田県支部報からホームページにも掲載されることになりました。平成28年度から予算の関係で支部報の誌面での配布は中止いたしました。私にとって任期中の最大の残念なことでした。

令和2年、第9回定時社員総会終了で支部長職を退任いたしました。後任は渡辺和弘(JA7SOK)さんです。

新支部長の指導の元、みんなで前向きに進んで行きましょう。アマチュア無線の置かれた環境は大変厳しいものがありますが、マイペースでアマチュア無線を楽しむことが重要と信じています。

最後に、顧問に就任しました、電波は出し続けます。今後もよろしく願いいたします。



「北海道・北東北の縄文遺跡群」 世界遺産登録記念特別局について

JA7CXP 大里 哲三

この度中国にてユネスコの世界遺産会議が時節柄ネットで行われました。

7月27日北海道・北東北縄文遺跡群が日本で28番目の世界文化遺産に登録決定しました。

昨年末からJARL特別記念局の開催の声が持ち上がり八戸市JL7GNT大向さんから意見聞かして欲しいと打診有りました。渡邊支部長と協議の上秋田県から当局が担当して進めてまいりました。開局準備の資料から何から何まで大向さんにまかせっきりでした。

JARL本部から免許状、東北本部からはリゲ一式(HF～1200迄固定機2台、モバイル機1台)無事に7月末、青森市へ届き8月1日三内丸山遺跡で開局式が北海道伊達市と同時に行われ今日に至っております。

北東北では縄文遺跡対象地を青森県スタートに秋田県、岩手県約一週間単位でローテーション掛けながら実施中です。

秋田県では北秋田市『伊勢堂岱遺跡』をJP7OTC成田さんに責任者として7月20日から7月26日まで続いて鹿角市『大湯環状列石』を当局JA7CXP大里が7MHZSSBメインで約1100局、秋田市のJL7OED珍田さんにはCWで大湯温泉にて150局応援頂きました。ログはハムログで管理して運用当日CSVファイルに纏め事務局に転送しています。特別記念局は12月31日迄ですが同時に縄文アワードは来年3月31日まで行われ順調にログが提出されているそうです。詳しくは「縄文アワード」HP参照して下さい。其処にはA,B,C賞の申請ログに必要な事項記入して送信出来ます。

尚縄文アワード対象地としてほぼ毎日の様にCQ出して居ますが県内局からの応答率低いです、7MHZと144MHZ聞こえましたら宜しくお願いいたします。

第31回 VU オール秋田 QSO パーティー規約

変更点 デジタルモード部門を新設しました

開催日時 2022年1月2日(日) 09:00～21:00

周波数・電波形式 50MHz帯以上の電信電話および各デジタルモード

参加資格 秋田県内で運用するアマチュア局とSWL

参加部門

部門		コード
SOP マルチバンド	フルタイム	FSM
SOP デュアルバンド (144MHz&430MHz)	フルタイム	FD
SOP 50MHz バンド	フルタイム	F0050
	ハーフタイム A	A0050
	ハーフタイム B	B0050
	フルタイム	F0144
SOP 144MHz バンド	ハーフタイム A	A0144
	ハーフタイム B	B0144
SOP 430MHz バンド	フルタイム	F0430
	ハーフタイム A	A0430
	ハーフタイム B	B0430
SOP 1200MHz バンド以上	フルタイム	F1200
	ハーフタイム A	A1200
	ハーフタイム B	B1200
SOP マルチバンドデジタルモード	フルタイム	FSMD
MOP マルチバンド	フルタイム	FMM
SWL マルチバンド	フルタイム	FSWL





- 〈F〉フルタイム 09:00 ~ 21:00
- 〈A〉ハーフタイム A 09:00 ~ 15:00 〈B〉ハーフタイム B 15:00 ~ 21:00
- **デジタルモード部門とその他 1 部門計 2 部門に書類提出可**
- SOP (シングルオペレーター) は、すべての操作を 1 人で行う参加形態。ゲスト運用も可
- MOP (マルチオペレーター) は、SOP に該当しない参加形態で、どのような内容であっても他人の助けを借りた場合

呼出方法

CQ ニューイヤーパーティ・CQ NYP・CQ NP

コンテストナンバー

RS(T)(FT8 は dB)+OP 名

交信相手局

秋田県内を含む全てのアマチュア局

得点

1 交信 (SWL は受信) 1 点、モードが違えば同一バンドでも得点できる。電信・電話 (FM SSB などのうちのどちらか一つ) 最大 2 点。デジタル部門は FT8 1 点、デジタル音声 1 点で最大 2 点

マルチプレイヤー

交信相手局のラストレター 〈最大 26 文字〉

総得点

(各バンドの得点の和) × (各バンドのマルチプレイヤーの和)

注意及び禁止事項

- 登録クラブ対抗は、秋田県支部登録クラブのみ
- MOP は運用者氏名と資格をサマリーシートに記入
- FM (デジタル) 呼出周波数の使用可、適度に間隔を取ること
- 運用地点の変更可、秋田県内のみ。各運用地をサマリーに明記
- サテライト交信は送受共 50MHz 以上。ログはアップリンクバンドを記入。144M と 430M のみはデュアルバンド、それ以外の周波数帯を含む場合はマルチバンド。ログの備考欄に使用した衛星名を記入
- デジタルモードは FT-8 C4FM DV (デジタル音声は直接波シプレックス通信のみ)
- FT-8 の呼び出しは CQ NP CALL GL (CQ NP JH7XGN QM09) OP 名は OP KATSU HNY 73 の様に送出する
- レピーター (インターネットや電話回線経由含む) は不可
- JARL 主催の QSO パーティーに併設して実施しますので、本パーティーのみに書類を提出しても、JARL 主催 QSO パーティーに参加したことにはなりません。また、書類の記入方法は異なります。

提出書類

JARL 制定のサマリーシート・ログシート、結果冊子等希望の場合 84 円切手を貼った SASE 同封

提出締め切り

1 月 31 日 (月) 消印有効

提出先

〒011-0904 秋田市寺内蛭根 1-8-8 京極 真 jl7aia@jarl.com

電子ログ

JARL 形式 (R1.0) 等テキストファイル

問い合わせ先

SASE か E-mail

失格

電波法令違反、書類不備、提出期限遅れ、同一バンド & モードで重複交信が 2% 以上の得点計上、その他ルール違反があった場合

賞

当支部表彰規定により表彰。

結果発表

JARL NEWS 他





秋田県支部 アワード

アワード担当幹事 JF7UIW 松橋 密

昨年度（2020年4月～2021年4月）のアワード受領者の皆さんです。

No.82 JH7KOB No.83 JH7WFF No.84 JQ6FQI

秋田県全市町村賞 達成 おめでとうございます 支部役員一同お祝い申し上げます。

ここしばらくの間、申請が途絶えていた 支部アワードですが、最近 続けての申請がありほっとしています。 総申請数は残念ながらまだ2ケタ台ですのもう少し伸びてほしい所です。

そのためには とにかく県内局のオンエアが欠かせません。最近の申請リストを見ますと、移動局（県外局の移動も含め）のカードが半分を占める勢いです。会員の皆様の少しでも多くのサービス、又 固定局のいない地域への移動運用をお願いしたいと思います。

県内局の申請も大歓迎です。皆様のチャレンジ お待ちしています。

秋田県支部 ARDF 委員会

委員長 JF7UIW 松橋 密

皆様には日頃より ARDF 競技にご理解 ご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

委員会活動としては 昨年来、新型コロナの影響で 何もできない状態が、続いております。 大会参加選手の主体が 高校生だということを考えると、競技ができないまま卒業を迎えたり また、新人で入ってきた生徒も続けていけるのか 非常に心が痛んだり 心配です。 しかし、これも致し方のないことコロナ終息を願うしか、すべがないのかもしれない。

コロナの他にも抱えている問題がクマの出没です。雪解けと共にクマの目撃情報も聞かれるようになってきました。ご存知のように競技エリアは あまり人の入らない、見通しのきかない森林地帯が良いとされています。これで、下草が生えていれば クマにとっては絶好の移動場所となります 選手の安全を考えると開催自体が危ぶまれます。

どちらも 我々だけではどうすることもできない事ではありますが、皆さんのお知恵を拝借しながら続けていけたらと思っています。

今後共、皆様のご協力よろしく願いいたします。

委員会 メンバー

副委員長 JA7JPK 齊藤邦弘

委員 JR7FEH 菊池幸彦

委員 JN7AEL 藤原浩樹

副委員長 JE7REC 三浦重弥

委員 JO7JTL 太田 研

委員 JO7MCV 藤島康一

委員 JF7KPF 佐藤 稔

委員 JL7MJG 渡邊義典

委員 JO7FBS 佐藤洋介





災害対策委員会

委員長 JH7QFP 武埜 竹千代

JARL では、平成 7 年の阪神淡路大震災を契機に非常通信による支援体制の見直しを行い、非常通信に関する基本方針・非常通信実施要領等を制定しました。これに基づき平成 8 年に災害対策委員会が発足し、はや 25 年目となります。携帯電話のサービスエリアも、だいぶ広がりましたし、ラインやツイッターなどのアプリも普及しましたが、災害の大きさによってはこれらが全滅することは容易に想像できますので、アマチュア無線の有用性はいまだ揺るぎないものと思っております。

これまでの活動を振り返りますと、手始めに取り組んだのが秋田県との災害時応援協定締結でしたが趣旨は理解してもらえたものの調印には至りませんでした。当時は「災害時ネットワークの構築を急ぐべきだ」というご意見も頂戴しましたが、その後の震災等の状況を踏まえると、「協定があったら何かうまくいったはず」と思えるケースはほとんど無いように思っています。一番大事だと感じたのは、どんな立派な書き物よりも、いざというときに自主的に動いてくれるボランティア個人局がいて、すぐに運用可能な設備がそこにあるということです。

JARL 制定の「非常通信支援体制」では、大規模災害発生時に必要な機材などを調達したうえで、RL 局または YRL 局を頂点とし、サブ基地局などの下にボランティア個人局が配置されます。このボランティア個人局が活動の主役になる訳ですが、ボランティア個人局による初動体制の確立のためには何が必要でしょうか？

まずは、いざというとき電波を出せる健全な設備が必要です。免許申請を含め日頃の無線局の健全性維持は無線従事者の義務です。局免の失効はもってのほかですが、電波法上は本来、電波の出せない設備に免許は下りないことを認識しましょう。無線機が故障したまま・アンテナの SWR が高いまま等の方はローカル局に相談するなど、整備しましょう。

次に、電波を出す機会を増やすことが必要です。普段運用していないと設備の健全性も確認できませんし、リグの設定にも慣れておく必要があります。2m や 430 も最近は静かですが、メインで CQ が聞こえた時には、ぜひお声掛けしたいものです。

最後に、JARL 会員増強活動等の効果により、令和 2 年度末の JARL 会員数が 27 年ぶりに増加に転じたという明るいニュースがありました。私たち自身が楽しんでいるところを見せてあげることによって、ニューカマーの方々も末永く楽しめることに繋がっていくと思います。進んで CQ を出し、アクティブに楽しみましょう。





ADXA (The Akita DX Association)

JARL登録クラブ：04-4-0004

会長 佐藤 清秀

1972年、市内のDX愛好家9名が川反に集まって発足会議が開かれ、クラブが発足された。3月10日には会報の第一号が発行されており、今年の5月15日号で1195号となっています。

クラブ名を決める時には、全員がDXも好きだが酒も好きなことから「酒とDXと〇〇をこよなく愛する会」とする案が検討されたとかされなかったとか…。

設立の趣旨通り？に年2回の一泊ミーティング、新年の日帰り総会、花見等々、機会あるごとに酒を飲みながらDX談義に花を咲かせてきましたが、一泊ミーティングにクラブ員以外の参加者も増えてきたことから、1987年に東北DXersミーティング「DXを肴に酒を飲む会」を開催、翌年からは東北各県持ち回りで開催され、最盛期には他エリア含めて150名程の参加者があるなどしながら25年間続くこととなりました。

DX関係では、1.8Mhzで日本で最初にWAC(6大陸交信賞)を受賞、さらに6BAND WACを世界で最初に受賞したOM、東北で最初にDXCC全カントリー(現在はエンティティ)と交信したOM、自作機を使用して長波(472Khz)で小笠原諸島と交信に成功したOM等、各方面で活躍しております。

最近では主流となりつつあるFT-8等デジタル通信を駆使するなどして大好きなアマチュア無線(DX通信)を楽しんでおります。

海外からの運用も、カリブ海、オセアニア、東南アジア、モンゴル等多数の国から運用しております。

現在の悩みは、コロナ渦の終息が見えないことから来年の創立50周年の記念事業をどうするか？ということですが、とりあえず開局28年目から65年目のメンバー28名は継続は力なりをモットウとして、それぞれのスタイルに合わせたDX通信(当然酒も)をこれからも楽しんで行きたいと思っております。

雄和アマチュア無線クラブ JA7YWY

JARL登録クラブ：04-1-0014

会長 皆川 和吉

当クラブは昭和48年に旧雄和町のOM4人で結成され、常置場所は町の協力もあり旧雄和町公民館内とし運用を開始しました。

当時事業としては、高尾山からのJCGサービスによる移動運用、FOXハンティング、技術講習会はTVアンテナ改造GP製作、基板をエッチングから起しワイヤレス低周波発信器、溶接棒とアルミサッシレールを利用した430MHz用26エレF9FT2列2段アンテナの製作、430MHz全国移動伝搬実験、アワードの発行(秋田空港開港記念、まごころ国体記念)、新年会、支部大会・ハムの集いはホストクラブとして合わせて4回参加しました。

現在は会員も秋田市、仙北市と広く会員数も20名となり、無線の好きなものの集まりとなっています。

最近の事業としては

- ・新年会(1月)この時だけは100%近い出席率嬉しいことだ
- ・ハムの集い参加・協力
- ・移動運用(9月)地元高尾山からQRVアルコール変調がメイン時々混変調となる
- ・FOXハンティング今年で36回目最近ではモバイルハンティングが主流
- ・コンテスト参加
- ・技術講習会

最後に雄和クラブは【趣味の集まり 入る者拒まず、去る者追わず】をモットーに活動している、入会希望者大歓迎します。



秋田市役所アマチュア無線クラブ JH7ZGK

JARL登録クラブ：04-3-0007

会長 佐藤 芳幸



JARL 秋田県支部報に、秋田市役所アマチュア無線クラブ JH7ZGK（以下「当クラブ」という。）の紹介の機会を与您にいただきまして、心より感謝申し上げます。

代表者の JF7UOQ 佐藤芳幸と申します。

当クラブの会員は、現在 14 人です。会員の構成は、市職員 6 人（再任用職員を含む）、OB7 人、市議会議員 1 人です。

当クラブは、秋田市役所に勤務し、アマチュア無線に興味を有する者をもって組織し、アマチュア無線に関する調査や研究を行い、また会員相互の親睦と融和を図り、あわせてアマチュア無線の発展に寄与することを目的として、昭和 57 年 11 月に会員 26 人で結成されたものです。

その後、昭和 58 年 10 月に、当時の東北電波管理局から、社団局の無線局免許状の交付があり、旧秋田市役所庁舎の塔屋を常置場所として、アマチュア局の運用を開始しました。

発足当時から平成の初めにかけての当クラブの活動は、総会・定例会のほか、免許未取得者への講習会や技術指導、移動運用などを盛んに行っておりました。

8 月の竿燈まつりでは、県内外から訪れる観光客への道案内や駐車場案内にも一役買いました。

特に、秋田市と蘭州市の友好都市提携を記念して行った、QSL カードとアワードの発行は、当時マスコミにも取り上げられました。

また、奇しくも当クラブの発足直後の昭和 58 年 5 月には、日本海中部地震が発生したこともあり、昭和 59 年 3 月に秋田市長と当クラブ会長の間で、災害非常通信の協力に関する協定が締結されました。

このことから、市の主催事業である秋田市総合防災訓練では、非常災害に備えた緊急通信訓練を行い、地域社会のために奉仕活動をする体制を整えておりました。

ここからは、最近の当クラブの現状をお話いたします。

平成 10 年頃から始まった PHS と携帯電話の普及に伴い、当クラブの新規会員の入会は毎年ゼロを更新してきましたが、平成 28 年に JO7MCV 藤嶋 OM が入会したことが唯一の救いです。

当方 JF7UOQ が当クラブに入会したきっかけは、たまたま駐車場が同じであった JF7THP 高橋 OM から、「佐藤君！君の車に無線のアンテナが付いているね。秋田市役所にアマチュア無線クラブがあるんだけど入らない？」と勧誘を受けたからです。

入ってみると、先輩 OM の入会動機は様々で、根っからの無線・メカ好き（笑）、スキーや山菜採りで使う人など様々でした。

無線局の常置場所であった旧秋田市役所庁舎の塔屋に行くには、執務室がある 4 階からさらに階段で 1 階上がり、さらに鉄製の垂直階段を上がり、やっとたどり着く場所にありました。


元々は消防の見張り所だったこともあり、見晴らしは 360 度あり、FB な場所でした。

現在の新庁舎では、スペースの関係から無線設備は常置しておりませんので、非常時には移動運用になるものと思います。

今年で結成から 38 年となる、当クラブの伝統ある火を消さないためにも、微力ながら尽力する所存です。

つきましては、JARL 秋田県支部様からのご支援をよろしく願いいたします。





本荘ハイソサエティーアマチュア無線クラブ JE7YAI

JARL 登録クラブ :04-4-18

会長 森川 由一

時は昭和の終わり頃、「何がやりでな〜」「地元の PR でもやるが〜」「何として?」「無線で!」この様な会話の電波が夜な夜な本荘市の空を飛び交っておりました。

「まずクラブ作んべ!」「クラブの名前は?」「俺達は上流だから(?)ハイソサエティーだべ!」と言うことで、家族ぐるみで楽しむことを目標のひとつとし、本荘ハイソサエティーアマチュア無線クラブと命名し、平成元年にスタートしました。

早速我が本荘市の PR からと、毎年開催されている「全国ごてんまりコンクール」の記念運用を行うべく市と交渉。

最初の頃は体育館の隅やエレベーター横の狭いスペースに机一つの場所をやっと確保し運用しましたが、年とともに実績が認められ、「今年も頑張るんですね」と、宿泊可能な市の施設「三望苑」を無償で貸して頂いたり、QSL カードの原稿として、ごてんまりコンクールのポスターの絵柄を使わせて頂いたりと理解・協力して頂ける様になりました。

「JA7YRL・JA7RL・JE7YAI・8J7GMC」のコールサインにより、QSL カードを年 1,000 枚作り、交代で運用しサービスして来ました。

当然、夜は家族ぐるみの懇親会で盛り上がり、楽しく活動してきましたが、とりあえず 30 年でいったん一区切り、次のサービス・PR を模索中です。

家族ぐるみで楽しむためには、家族にも免許を取らせようと、クラブ員が講師となり、JARD の養成講習会を数回開催。XYL・2nd が資格取得した他、講習会合格者の中からもクラブに入会した方が多くあり、最盛期には 40 名のメンバーがおりました。

クラブ結成前から仲間達で行っていた移動運用も頑張りました。

数人ずつのグループに別れ移動し、他の移動地の準備状況を V・U で確認し合いながらオペレータを交代、また別の運用場所へ移動するという手順で、2 日間に渡り本荘由利の 1 市 10 町を、主に 7MHz 帯でサービスしました。当然夜は基地局を置いてある某会社の保養所で、家族を含めアルコール変調です。大いに盛り上がりましたが、このサービスも平成の大合併で終了しました。

支部大会の前日は大会開催地でその地をサービスし、車中泊し翌日支部大会へ参加するなど、移動運用の好きなメンバーの集まりでもあります。

また移動運用だけでなく、スキーツアー・温泉旅行・ハムフェアへの参加など仲間・家族ぐるみで楽しんでいるクラブです。

皆が若い頃は、週末の夕方になると V・U で「ひまだな〜」「やるが〜」「やるべ〜」「どこで〜?」「俺んちで!」と連絡を取り合い、先週は A 局宅、今週は B 局宅と家族ぐるみで集まりあい、しばらくの間、毎週末には大宴会を行ってきたという宴会大好きクラブでもありました。

しかしながら OM 達は仕事を退く年代になり体力・気力が低下。若いメンバーは仕事が忙しかったり、県外に転職・出向したり。2nd 達は就職し全国に移り住み、ばらばらになってきました。

また、無線機も超薄型で、インターネットにもつながる、免許不要のものばかり使う様になってきましたが、懐疑ならぬアルコール変調による会議で、クラブ設立当初の様に、ず〜っと続けられる新たな活動方針を定めたいと思っています。

そのために、ご時世の新型コロナウイルス終息を待っているのが現状です。

秋田県支部のハムの集いが再開され、県内の各局とアイボール Q S O 出来ることを楽しみにしております。



千秋アマチュア無線倶楽部 JE7YNM

JARL 登録クラブ :04-4-0026

理事 JH7RYN 府金浩樹

各局様、お元気ですか。

昨年からのコロナ禍の中、ご苦労も多いと思います。まったく予想もできない事態に、遭遇してしまいました。一刻も早い終息を願うばかりです。

当倶楽部の紹介をします。

JE7YNM 千秋アマチュア無線倶楽部です。創立 平成 10 年 (西暦 1998 年)2 月 13 日。今年で 23 周年を迎えました。これも偏に各局様からの、お声掛け、ご支援の、お蔭です。心から深く感謝、申し上げます。

当倶楽部は、現在、JK7VTS 高橋一夫 会長以下、総員 13 名で結成されております。年間活動としましては、毎年 1 月に新年総会 (会議と新年会) を実施しています。残念ながら、今年は新型コロナウイルス感染防止対策を行う事が、不可能と判断して、中止しました。また、2 月には倶楽部開局 23 周年記念運用を実施しています。

昨年までは、モービルによる移動 (144MHZ 430MHZ 50MHZ (FM)) でしたが、今年は 2 月 28 日に、新型コロナウイルス感染防止対策を実施して、常置場所より運用しました。

倶楽部開局 23 周年記念 QSL カードを発行しました。

今回は、7MHZ(SSB) も運用しました。J クラスターに、アップされた事もありパイルアップの状態になりました。

お声掛け、いただきました各局様、たいへんありがとうございました。また、パイルアップで QSO できなかった各局様、たいへんすみませんでした。この場を借りて、お詫びします。


次に、毎年 1 月 2 日に行われる、VU オール秋田 QSO パーティーの登録クラブ対抗では、今年も、1 位になりました。これもまた、各局様からの、お声掛けのお蔭です。個人的にも当局に、毎年、多数の局長様からの、お声掛けをいただき、この場を借りて厚く御礼申し上げます。

以上の様な、倶楽部の活動状況と紹介です。

最後に、当倶楽部に入会を希望される局長様がおられましたら、各倶楽部員に、遠慮なく、ご連絡ください。

これからも、千秋アマチュア無線倶楽部をご支援くださいますよう、よろしく願い申し上げます。





令和3年5月16日

秋田県アマチュア無線赤十字奉仕団 JA7YPW

JARL 登録クラブ :04-4-0028

委員長 石川 和男

日本赤十字社は、赤十字の基本理念に基づいて行動する多数のボランティアによりその事業活動が支えられている。市町村の区域によって結成されている地域赤十字奉仕団及び青年並びに特殊技能者のグループで組織する特別赤十字奉仕団が、赤十字事業の推進、ひいては地域福祉の向上に貢献できるようその活動を援助する。地域奉仕団、青年奉仕団、点訳奉仕団、芸能奉仕団、アマチュア無線奉仕団、水上安全法奉仕団、救急法奉仕団、災害救護奉仕団、青少年赤十字賛助奉仕団、赤十字有功会、などのグループがあります。

アマチュア無線奉仕団は去年からの新型コロナウイルス感染の問題で活動は半休止状態です。この問題が発生する以前は秋田県総合防災訓練に JARL 秋田県支部と共同で訓練に参加しています。

全国のアマチュア無線赤十字奉仕団と非常通信訓練に参加し電波伝播状態の確認、交信訓練を行っています。

平成30年度は以下の通りでした。

- | | | | |
|----|-----------|---------------|------------------------------|
| 1 | 6/17 (日) | 09:00 ~ 11:30 | 山口県赤十字ハムクラブ JA4YGI/4 |
| 2 | 7/ 8 (日) | 10:00 ~ 12:00 | 奈良県無線・救護赤十字奉仕団 JH3YPO |
| 3 | 7/22 (日) | 09:30 ~ 10:00 | 北海道無線赤十字奉仕団協議会 JA8ZFT |
| 4 | 7/22 (日) | 09:00 ~ 10:00 | 日本赤十字社福島県防災支援奉仕団連絡協議会 JA7YEA |
| 5 | 9/ 2 (日) | 09:00 ~ 11:00 | 栃木県支部アマチュア無線奉仕団 JH1YSQ |
| 6 | 9/ 2 (日) | 09:00 ~ 11:30 | 石川県無線赤十字奉仕団 JA9YDZ |
| 7 | 9/ 2 (日) | 09:30 ~ 11:00 | 富山県アマチュア無線赤十字奉仕団 JA9YED |
| 8 | 9/ 8 (土) | 09:00 ~ 10:30 | 神奈川県無線救急赤十字奉仕団 JA1YRZ |
| 9 | 9/ 9 (日) | 10:00 ~ 11:30 | 岩手県アマチュア無線赤十字奉仕団 JE7YDS |
| 10 | 9/30 (日) | 10:00 ~ 11:40 | 静岡県無線赤十字奉仕団 JA2YLV |
| 11 | 10/13 (土) | 10:00 ~ 11:00 | 兵庫件無線赤十字奉仕団 JK3ZCN |
| 12 | 10/21 (日) | 09:30 ~ 10:30 | 長岡アマチュア無線赤十字奉仕団 JROYWF/0 |
| 13 | 11/13 (火) | 10:00 ~ 12:00 | 千葉県赤十字特殊救護奉仕団 JH1ZPI/1 |
| 14 | 11/25 (日) | 10:00 ~ 11:30 | 石川県無線赤十字奉仕団 JA9YDZ |
| 15 | 12/ 1 (土) | 09:30 ~ 11:00 | 赤十字社栃木県支部アマチュア無線赤十字奉団 JH1YSQ |
| 16 | 1/12 (土) | 10:00 ~ 11:00 | 神奈川県無線救急赤十字奉仕団 JA1YRZ |
| 17 | 1/20 (日) | 10:00 ~ 11:30 | 大阪赤十字機動救助奉仕団 JA3YDO |
| 18 | 3/10 (日) | 14:00 ~ 15:30 | 山口県赤十字ハムクラブ JA4YGI |
| 19 | 3/10 (日) | 10:00 ~ 12:00 | 山梨県無線赤十字奉仕団 JR1YBL |



令和2年度JARL秋田県支部活動報告

年	月	日	行 事	備 考
2	5	中旬	秋田県支部報発行	未発行
	5	17	役員・委員・クラブ代表者・監査指導委員会合同会議	書面による会議
	5		秋田県高校 ARDF 大会	高文連の行事 中止（支部支援事業）
	6	1	「電波の日」記念運用	コロナウイルスの影響により登録クラブの運用実績なし
	～	9		
	6	14	ハムの集い	雄和サイクリングターミナル中止
	6		秋田県高校 ARDF 大会	高文連の行事 中止（支部支援事業）
	8	30	秋田県総合防災訓練	由利本荘市参加見送り
	8	30	災害ロールコール	
	9	12	第34回オール秋田コンテスト	
	～	13		
	9		JARL 秋田県支部 ARDF 大会	中止
	9	20	秋田県高校 ARDF 大会	高文連の行事 能代市風の松原（支部支援事業）
	10	31	秋田県高校 3.5メガ ARDF 大会	高文連の行事 県立中央公園（支部支援事業）
	11	8	コンテスト委員会開催	令和3年度の活動計画（案）として、9/11～9/12 第35回オール秋田コンテスト
	12	6	役員・委員会・監査指導委員会合同	会場 秋田市雄和サイクリングターミナル 13名出席
3	1	2	第30回VUオール秋田QSOパーティー	
	3	7	役員・委員・クラブ代表者会議	会場 雄和市民サービスセンター 12名出席
	随 時		秋田全市町村賞受付発行	
	適 宜		ガイダンス局の運用	
	検討中		初心者向けQSO講習	
	随 時		会員増強活動	

一般社団法人日本アマチュア無線連盟
東北地方本部長 殿

令和3年3月31日
秋田県支部

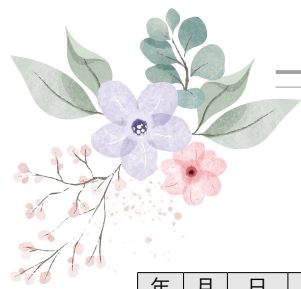
令和2年度JARL秋田県支部費収支報告書

支部長	担当

(単位：円)

科 目	当期予算額	第1/四半期額	第2/四半期額	第3/四半期額	第4/四半期額	累計額	備考
前期繰越高	0	74,743	332,857	321,508	275,030	74,743	
収入	支 部 費	245,000	245,000	0	0	0	245,000
	賞 典 収 入	0	0	0	0	500	500
	雑 収 入	0	15,200	0	0	0	15,200
	受 取 利 息	0	0	1	0	1	2
	小 計	245,000	260,200	1	0	501	260,702
支出	会 議 費	33,000	0	0	27,000	6,717	33,717
	催 物 費	121,000	0	0	10,000	13,314	23,314
	渉 外 費	0	0	0	0	0	0
	通 信 費	15,000	1,492	0	8,580	6,815	16,887
	交 通 費	0	0	0	0	0	0
	消 耗 品 費	0	0	0	0	844	844
	事務印刷費	20,000	594	0	0	14,011	14,605
	コンテスト費	40,000	0	0	898	45,155	46,053
	賞 典 費	1,000	0	0	0	140	140
	非常通信	15,000	0	11,350	0	0	11,350
	雑 費	0	0	0	0	0	0
小 計	245,000	2,086	11,350	46,478	86,996	146,910	
次期繰越高		332,857	321,508	275,030	188,535	188,535	





令和3年度JARL秋田県支部活動計画

年	月	日	行 事	備 考
3	5	中旬	秋田県支部報発行	
	5	16	役員・委員・クラブ代表者・監査指導委員合同会議	
	5	下旬	秋田県高校 ARDF 大会	高文連の行事（支部支援事業）
	6	1	「電波の日」記念運用	登録クラブの運用予定
	～	13		
	6	13	ハムの集い	
	6	中旬	秋田県高校 ARDF 大会	高文連の行事（支部支援事業）
	8		秋田県総合防災訓練参加	湯沢市の予定
	8		災害ロールコール	
	9	11	第35回オール秋田コンテスト	
	～	12		
	9		JARL 秋田県支部 ARDF 大会	日程は ARDF 委員会で調整
	10		コンテスト委員会開催	日程はコンテスト委員会で調整
	10		秋田県高校 ARDF 大会	高文連の行事（支部支援事業）
	12		コンテスト委員会開催	日程はコンテスト委員会で調整
	12	5	役員・委員会・監査指導委員会合同	
4	1	2	第31回VUオール秋田QSOパーティー	
	3	6	役員・委員・クラブ代表者会議	
	随 時		秋田全市町村賞受付発行	
	適 宜		ガイダンス局の運用	
	検討中		初心者向けQSO講習	
	随 時		会員増強活動	令和3年度秋田県支部若返り計画ほか

一般社団法人日本アマチュア無線連盟
東北地方本部長 殿

令和3年度JARL秋田県支部予算

令和3年3月7日
秋田県支部

支部長	担当

（単位：円）

科 目		2年度予算額	3年度予算額	比較増減	備考
前期繰越高				0	
収入	支 部 費	245,000	245,000	0	100.0%
	賞 典 収 入	0	0	0	
	雑 収 入	0	0	0	
	受 取 利 息	0	0	0	
小 計		245,000	245,000		
支出	会 議 費	33,000	33,000		
	催 物 費	121,000	121,000		
	渉 外 費	0	0		
	通 信 費	15,000	15,000		
	交 通 費	0	0		
	消 耗 品 費	0	0		
	事務印刷費	20,000	20,000		
	コンテスト費	40,000	40,000		
	賞 典 費	1,000	1,000		
	非常通信費	15,000	15,000		
	雑 費	0	0		
小 計		245,000	245,000	0	
次期繰越高					





JARL 秋田県支部役員委員

令和3年4月1日現在

No.	役 職	コールサイン	氏 名	備 考
1	顧 問	JA7DCY	石川 和男	東北地域毎社員
2	支 部 長	JA7SOK	渡辺 和弘	支部社員
3	副支部長	JA7CXP	大里 哲三	監査指導委員
4	会 計	JA7KKV	佐藤 悦紹	
5	幹 事	JA7QFT	佐藤 史則	
6	〃	JA7RUM	森川 由一	
7	〃	JH7QFP	武埴竹千代	災害対策担当
8	〃	JH7XGN	古川 克巳	コンテスト担当
9	〃	JF7UIW	松橋 密	アワード・ARDF 担当
10	コンテスト	JH7OUW	佐々木敏範	
11	〃	J17OED	珍田 一人	東北地域毎社員
12	〃	JL7AIA	京極 真	
13	ARDF	JE7REC	三浦 重弥	
14	〃	JA7JPK	斎藤 邦弘	
15	〃	JR7FEH	菊地 幸彦	
16	〃	JF7KPF	佐藤 稔	
17	〃	JL7MGJ	渡邊 義典	
18	〃	JN7AEL	藤原 浩樹	
19	〃	JO7FBS	佐藤 洋介	
20	〃	JO7JTL	太田 研	
21	〃	JO7MCV	藤嶋 康一	
22	災害対策	JR7KIC	松橋 亘	
23	〃	JK7VPL	村山 久尚	
24	広 報	JH7KTI	石川 信	
25	〃	JO7XOD	小野 淳一	
26	監査指導委員長	JH7SHG	御所野正義	
27	監査指導委員	JA7ZL	上野 清	
28	〃	JA7CXP	大里 哲三	
29	〃	JA7KKV	佐藤 悦紹	
30	〃	JA7LDH	袴田 祐一	
31	〃	JF7UIW	松橋 密	
32	〃	JH7IOE	石岡 悟	
33	〃	JH7QFP	武埴竹千代	
34	〃	JR7KIC	松橋 亘	
35	〃	JO7MCV	藤嶋 康一	
36	〃	JA7DCY	石川 和男	





秋田県支部登録クラブ

令和3年5月1日から令和5年4月30日まで

クラブ局	クラブ名	登録番号
	秋田アマチュア無線クラブ	04-1-0001
JA7ZGC	能代アマチュア無線クラブ	04-1-0012
	大湊アマチュア無線クラブ	04-1-0013
JA7YWY	雄和アマチュア無線クラブ	04-1-0014
JA7YBL	秋田県立横手清陵学院高校 無線部	04-2-0014
JH7ZGK	秋田市役所アマチュア無線クラブ	04-3-0007
	秋田DXアソシエーション	04-4-0004
JH7YJF	コミュニケーションハムクラブ	04-4-0012
JE7YAI	本荘ハイソサエティーアマチュア無線クラブ	04-4-0018
	秋田県アマチュア無線アクティビティ協会	04-4-0019
JE7YNM	千秋アマチュア無線倶楽部	04-4-0026
JA7YPW	秋田県アマチュア無線赤十字奉仕団	04-4-0028

秋田県支部監査指導委員

令和3年4月1日現在

	役職	コールサイン	氏名	担当業務	備考
1	委員長	JH7SHG	御所野 正義	D,G	
2	委員	JA7ZL	上野 清	E,G	
3	委員	JA7CXP	大里 哲三	B1,B3	
4	委員	JA7KKV	佐藤 悦紹	E,G	
5	委員	JA7LDH	袴田 祐一	B3,B4,D	
6	委員	JF7UIW	松橋 密	E,G	
7	委員	JH7IOE	石岡 悟	B3,B4,B5	
8	委員	JH7QFP	武埴 竹千代	E,G	
9	委員	JR7KIC	松橋 亘	E,G	
10	委員	JA7DCY	石川 和男	E,G	
11	委員	JO7MCV	藤嶋 康一	E,G	

A：電波障害 C：侵入電波 D：監査指導・実地調査 E：ガイダンス局
B：モニター局（B1=HF B2=50MHz B3=144MHz B4=430MHz B5=1200MHz）
G：支部幹事兼任





JARL 全世界 10,000 局アワード受賞



能代市畠町の原田勇作さん（JA7DY）が日本アマチュア無線連盟の「全世界 10,000 局賞」を受賞、県内では唯一の受賞。18 歳でアマチュア無線を始めて以来、世界各国の愛好者と 1 万局を超える交信を行い、その交信証（QSL カード）を集めたことが評価された。

昭和 30 年頃から AJD、WAJA、JCC などのアワードをかわきりに収集し始め昭和 51 年 3 月「全日本 10,000 局よみうりアワード」、平成 3 年 9 月「世界 10,000 局よみうりアワード」を受賞している。

ハムにとって、アワードは「勲章」のようなもの、取得した QSL カードの中から適合する 1 万枚を選ぶ苦労談を語っていた。

今後の目標は、国内のアマチュア無線家と交信する「全日本 10,000 局賞」の申請に向けて QSL カードを選ぶ作業をしていると意欲を語っていた。

受賞おめでとうございます。今後更なるご活躍を祈念いたします。

（令和 3 年 11 月 9 日取材）

